

103-238

問題文

大腸がんの発症リスクに関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 親や兄弟などに大腸がんの人がいる場合、発症リスクが高い。
2. 肥満は、発症リスクを上げる。
3. ベーコンなどの加工肉の摂取は、発症リスクを下げる。
4. 魚由来の不飽和脂肪酸の摂取は、発症リスクを上げる。
5. 運動習慣の有無は、発症リスクに影響しない。

解答

問238 : 1, 3問239 : 1, 2

解説

問238

選択肢 1 は、正しい記述です。
40 歳から、定期検査が推奨されます。

選択肢 2 ですが
通常、まずは便潜血検査が行われます。遺伝子診断ではありません。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 は、正しい記述です。

選択肢 4 ですが
内視鏡検査では、結腸、直腸共に検査します。よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 ですが
AFP は、肝臓がんの腫瘍マーカーです。大腸がんの腫瘍マーカーではありません。よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、問238 の正解は 1,3 です。

問239

選択肢 1,2 は、正しい記述です。

選択肢 3,4 ですが
ベーコンなどの加工肉摂取は、発症リスクを「高める可能性」があります。また、魚由来の不飽和脂肪酸摂取が多い方が発症リスクが「低くなる可能性」があります。加工肉が発症リスクを「下げる」及び不飽和脂肪酸の摂取がリスクを「上げる」という記述は少なくとも明らかに誤りです。

選択肢 5 ですが
大腸がんは、運動習慣によりリスクが低下する という知見が集積しています。少なくとも「影響しない」という記述は明らかに誤りと考えられます。

以上より、問239 の正解は 1,2 です。